

平成27年度大会要項変更事項

公益財団法人日本卓球協会
事業部長 金崎 正久

<各大会>

1 全国ラージボール卓球大会

【(10) 競技ルール の新規追記】

- ②使用球は、JTTA公認球44mmを使用する（セルロイドとプラスチックの併用）
*それにより②→③、③→④、④→⑤へ繰り下がる

【(11) 参加資格⑥ の新規追記】

- ※主管団体都道府県が予選会を開催し参加人数を調整した。

2 全日本クラブ選手権

【(8) 試合方法※上から3番目 の変更】

- 監督会議での登録選手変更は2名までとし、・・・

→申込後、監督会議終了までの登録選手の変更は2名までとし、・・・

【(11) 参加資格2 の変更】

- 参加チームは、原則として現住所または勤務先を同一都道府県内とするメンバーからなるクラブ単位とし、都道府県代表として参加する事。但し、現住所、勤務先がクラブ活動地と異なる選手の出場については、当該加盟団体長の承認を必要とし、この場合は隣接都道府県に限って認めるものとする。なお、登録加盟団体以外（隣接都道府県）のチームから参加する場合は、当該年度を含め2年間は当該チーム以外からは出場できない。

- ① 隣接都道府県であり、同一クラブ名称であること。
- ② 同一クラブ名で登録していること（ゼッケンの所属欄が同一であること）
- ③ 当該（登録地および出場地）加盟団体長から承認されていること

→参加チームは、同じ都道府県、所属で登録している役員、選手からなるクラブ単位とし、都道府県代表として参加する事。ただし以下の条件を全て満たした者はそのチームより出場できるものとする。なお、~~登録加盟団体以外（隣接都道府県）のチームから参加する場合は、当該年度を含め2年間は当該チーム以外からは出場できない。~~

- ① 隣接都道府県であり、同一クラブ名称で登録されていること。
- ② ~~同一クラブ名で登録していること（ゼッケンの所属欄が同一であること）~~
- ② 当該（登録地および出場地）加盟団体長から承認されていること

※なお、登録加盟団体以外（隣接都道府県）のチームから参加する場合は、当該年度を含め2年間は当該チーム以外からは出場できない。（出場する場合は1年間あけること）

『——— 部削除』

【(11) 参加資格全体 の変更】

- 団体 → チーム
- メンバー → 選手
- 出場者 → 出場選手

【(11) 参加資格13】③ の変更】

- 一般の部2部男・女

※下記大会に出場したことがあっても40歳以上の者は一般の部2部に出場できる

- ①全日本卓球選手権（ジュニアを含むが、マスターズの部は含まず）、②全日本選手権（団体の部）、
- ③全日本社会人選手権、④国民体育大会、⑤インターハイ（シングルス・ダブルス）、
- ⑥全日本大学総合卓球選手権大会（個人の部）

→a)全日本卓球選手権（一般・ジュニアの部）、b)全日本卓球選手権（団体の部）、
c)全日本社会人卓球選手権、d)国民体育大会、e)全国高等学校卓球選手権（シングルス・ダブルス）、
f)全日本大学総合卓球選手権（個人の部）

【(11) 参加資格 の新規追記】

- 19) 2)、9) を適用したチームが出場する都道府県協会(連盟)は申込書にその旨を明記すること。
(隣接は登録都道府県名を、外国籍選手は※と備考欄に記載)

3 全国レディース大会

【(9) 試合方法②個人戦（ダブルス）（イ）試合方法の追加】

- A. 合計年齢 60～109 歳
- B. 合計年齢 110～125 歳
- C. 合計年齢 126 歳以上

- A. 合計年齢 60～109 歳
- B. 合計年齢 110～125 歳
- C. 合計年齢 126 歳以上

D. 合計年齢 140 歳以上（各々の年齢が70歳以上であること）（平成28年度より実施）

【(13) 参加数 の追加】

●個人戦（ダブルスD）の参加数追加（平成28年度より実施）

都道府県	チーム戦	個人戦（ダブルスA）	個人戦（ダブルスB）	個人戦（ダブルスC）	個人戦（ダブルスD）
A 県	4	4	4	4	2
B 県	3	3	3	3	
C 県	2	2	2	2	
その他	1	1	1	1	1

4 全日本社会人選手権大会

【(11) 参加資格③ の追記】

●学校教育法第1条に規定する学校に在籍する学生及び生徒は出場できない。

→学校教育法第1条に規定する学校に在籍する学生及び生徒（大学院生は除く）は出場できない。

5 全日本選手権大会（団体の部）

【(10) 競技ルール④ の追記】

●ゼッケンは平成●●年度（公財）日本卓球協会指定のものを使用すること。

→ゼッケンは平成●●年度（公財）日本卓球協会指定のものを使用すること。ただし県選抜、JNTについては本会でゼッケンを用意する。

6 その他

【登録規程の変更に伴い要項の参加資格一部追加訂正】

★参加資格について（個人戦）

- （公財）日本卓球協会登録者
- （公財）日本卓球協会選手登録者

*下記大会個人戦における記載追記

全日本選手権（ホプス・カブ・バンビ）、マスターズ、カデット、一般・ジュニア）、
 全国ラージボール大会、全日本社会人選手権、全国レディース大会、
 全国レディースフェスティバル

★参加資格について（団体戦）

- （公財）日本卓球協会登録者
- （公財）日本卓球協会選手登録者

●監督、コーチ他の登録についての新規記載

→監督、コーチ（アドバイザー）などは役員登録をし大会時に役員章を腕に付ける事

*下記大会団体戦における記載追記

全日本クラブ選手権大会、全日本実業団選手権大会、全国レディース卓球大会
 全国ホプス卓球大会、全日本選手権大会（団体の部）、全国ホプス選抜大会

・すでに全国高校選手権大会、全国高校選抜大会、中学選抜大会には採用済みである。

★平成27年度本会主催大会使用球について

●本会公認球（プラスチックボールのみ）

全日本選手権（ホプス・カブ・バンビ、団体、マスターズ、カデット、一般・ジュニア）、
全日本クラブ選手権大会、全日本実業団選手権大会、全国レディース大会、全国ホープス大会、
国民体育大会、全日本社会人選手権大会、全国レディースフェスティバル、全国ホープス選抜大会、
全国中学校選抜大会、全国高等学校選手権大会、全国高校選抜大会、
*全国高校選抜大会については平成26年度から実施

●本会公認球（プラスチックボール、セルロイドボールの併用）

全国ラージボール大会、全国中学校卓球大会

※上記記載のない大会につきましては各要項にてご確認ください。

★ジャパントップ12大会（平成26年度）

【大会名の変更について】

会長杯・ジャパントップ12

⇒ LIONカップ 第20回ジャパントップ12卓球大会

*大会申込締切日【別紙】

*大会開催一覧【別紙】

*上記以外で、大会要項の標記・記述に不備がある場合は、大意を変えないよう修正を加える。

報告事項)

●国民体育大会における記載の削除など

6 参加資格、所属都道府県及び選手の年齢基準 の削除（平成24年度第3回理事会で報告済み）
（平成27年度（2015・和歌山国体）より）

監督は（公財）日本卓球協会が認定する公認審判員以上の審判員資格を有する者で（公財）日本体育協会公認スポーツ指導者制度に基づく、公認卓球上級コーチ、公認卓球コーチ、公認卓球上級指導員のいずれかを満たす者とする。

ただし、第61回～第63回大会監督経験者は、（公財）日本卓球協会が認定する公認審判員以上の審判員資格を有する者で、（公財）日本体育協会公認スポーツ指導者制度に基づく公認卓球上級コーチ、公認コーチ、公認卓球上級指導員、公認卓球指導員のいずれかを満たす者とする。

⇒監督は（公財）日本卓球協会が認定する公認審判員以上の審判員資格を有する者で（公財）日本体育協会公認スポーツ指導者制度に基づく、公認卓球上級コーチ、公認卓球コーチ、公認卓球上級指導員のいずれかを満たす者とする。

~~ただし、第61回～第63回大会監督経験者は、（公財）日本卓球協会が認定する公認審判員以上の審判員資格を有する者で、（公財）日本体育協会公認スポーツ指導者制度に基づく公認卓球上級コーチ、公認コーチ、公認卓球上級指導員、公認卓球指導員のいずれかを満たす者とする。~~

なお、第70回大会における特例処置として、平成27年10月1日付認定予定者については公認資格取得者と同等の者として扱う。

『——— 部削除』